



下水汚泥の更なる活用に向けた効果検証試験で 南安曇農業高等学校が田植えを実施します

下水の処理過程で発生する汚泥の肥料化を目指す取組として、南安曇農業高等学校と協働で稲の生育試験等の効果検証試験を進めています。今年度は野菜・花きを試験対象として追加するなど、より多くの作物・品種での利用可能性を検証します。

今回、新たに対象に加えた「コシヒカリ」を生徒が試験水田へ田植えします。

田植え

稲の生育試験のため、南安曇農業高等学校の生徒が以下の日程で田植えを行います。

(1) 日時

令和6年5月20日(月) 午後1時から(1時間程度) ※少雨決行

(2) 場所

南安曇農業高等学校第2農場 5号水田一部区画(安曇野市堀金烏川1773番地1)

(3) その他

ア 水田への下水汚泥の散布及びすき込みは4月11日(木)に実施済みです。なお、当日はすきこみを行った汚泥(実物)や作業風景の写真をご用意する予定です。

イ 取材を希望される方は5月17日(金)午後5時までに下記担当者へお申し込みください。また、当日は現場係員の指示に従い、指定場所への駐車をお願いします(別紙参照)。

(参考) 効果検証試験

処理場で発生した下水汚泥*について、肥料としての有効性や安全性に関する試験を実施します。

(1) 内容

ア 土壌中の肥料成分調査

イ 稲、小麦、野菜・花きの生育試験

ウ 下水汚泥の成分分析

エ 土壌への重金属成分の蓄積状況確認

(2) 場所

南安曇農業高等学校第1農場及び第2農場(別紙参照)



※下水汚泥とは

… 下水を処理する過程で生じる汚泥。

現在、当処理場で発生する汚泥はセメント原料として資源化している。

植物の成長を促す窒素やリンなどの成分も含まれていることから、昨今の世界情勢による肥料価格の高騰を受け、農業用資材としての活用が期待されている。

◎昨年度の取組



(犀川安曇野流域下水道事務所 HP)



くらしの足元、ふと見つめ直す。
そこからはじまる暮らしの
ゼロカーボンシフト「くらしふと」



WEBサイトはこちら

(問合せ先)

担当 犀川安曇野流域下水道事務所
八町、高橋

電話 0263-73-6571(直通)

ファクシミリ 0263-73-6572

電子メール azuminoryuiki@pref.nagano.lg.jp

試験実施場所 位置図

